

会議録（１）

会議の名称	平成29年度 第1回 飯能市障害福祉審議会
開催日時	平成29年6月30日（金） 開会 午後6時30分 閉会 午後8時10分
開催場所	飯能市役所本庁舎 別館2階 会議室
会長氏名	上野 容子
出席委員	上野 容子 桑山 和子 岡田 京子 齋藤 みどり 佐藤 智恵美 原 陽一 神山 秀昭 吉岡 かおる 加藤 久子 小島 崇幸 野田 剛
欠席委員	坂本 美津子 角田 健一 大森 三起子 田中 正彦 樽澤 久美子
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）双木 和宏 障害者福祉課主幹（障害総務担当）須田 あゆみ
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）双木 和宏 障害者福祉課主幹（障害総務担当）須田 あゆみ 障害者福祉課主任 佐藤 正也 障害者福祉課主任 西村 英樹
飯能市委託事業所	飯能市すこやか福祉相談センターさかえ町 徳永 龍介 飯能市すこやか福祉相談センターはちまん町 森田 亜由美 飯能市精神障害者地域活動支援センター希望 志村 栄子 飯能市障害者就労支援センター 平沼 裕太

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項	
1	開会（午後６時３０分）
2	あいさつ 上野会長
3	諮問 市長より、審議会に「第４次飯能市障害者計画・第５期飯能市障害福祉計画・第１期飯能市障害児福祉計画」策定における諮問を行った。
4	議事 第４次飯能市障害者計画・第５期飯能市障害福祉計画・第１期飯能市障害児福祉計画の策定について ・配布資料に基づき、事務局より説明を行った。 ・意見等がある場合には、７月１４日（金）までに事務局へ提出をしていただくこととした。
5	報告 タブレット端末による聴覚障害者支援事業について ・事務局より、事業開始の報告をした。
6	その他 特になし。
7	閉会（午後８時１０分）
備考	

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
課長	これより、審議に入らせていただきます。規則に従いまして、会長に議長をお願いいたします。
会長	<p>ただいま、市長から計画について、当審議会へ諮問がございました。今後、委員の皆様にご審議いただき、答申としてまとめたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の4の議事に入ります。「第4次飯能市障害者計画・第5期飯能市障害福祉計画・第1期飯能市障害児福祉計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いいたします。</p>
主幹 (障害総務担当)	(資料1、資料2、資料3により説明)
主幹 (相談支援担当)	(資料4、資料5により説明)
会長	資料が事前に配布されておりますので、委員の皆様から、ご質問等がございましたらお願いいたします。
会長	資料4の「第3次飯能市障害者計画事業評価」ですが、評価の仕方について補足説明をお願いします。
課長	資料4は、事業を行っている関係各課や事業所が、自己評価を行ったものです。自己評価ですと、外部から見た評価とは異なる場合もあると考えておりますので、今後、関係各課や事業所へのヒアリングを実施し、評価内容の確認をまいります。
委員	<p>資料2「国の資料等の概要について」の1ページの「(2) 課題」の「③ 統計・PDCAサイクルの充実」の中にあるように、「データの収集や統計の充実が必要」であると思います。</p> <p>利用者アンケートの要望結果と、資料4の評価結果に違いが見受けられる部分もあるようですので、そのような点からも課題が見えるのではないのでしょうか。</p>

課長	<p>例えば、利用者アンケートではバリアフリーについての要望が大きかったのですが、関係課の自己評価では高い評価となっています。このように違いが見受けられる部分から、課題を捉え、次期計画に反映したいと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>施設入所者の地域生活への移行については、実績なしとの報告がありましたが、障害の程度が重度である場合などは、グループホームの利用も難しく、現実には施設入所となってしまう傾向があると思います。</p> <p>地域生活への移行という目標と、現実との差を埋めるにはどうしたらよいかについて、会長のお考えをお伺いできますでしょうか。</p>
会長	<p>他の地域では、施設から地域生活に移行するのは無理と思っていた方々が、グループホームを作ったという事例もあります。そのようなモデル的な事例も視察し、飯能市の地域特性、施設利用などを踏まえながら、考えていくのがよいと思います。</p>
委員	<p>住まいの近くにあるグループホームや入所施設は、満床で利用が難しいという現実があるため、飯能市内に入所施設ができるとよいという意見をよく聞きます。</p> <p>そのようなことも鑑み、「施設入所者の地域生活への移行」の数値目標を設定していく必要があると思います。</p>
会長	<p>親の高齢化に関連する問題は、障害種別を問わず、考えていかなければならない問題です。具体的にどのようにすればよいか、皆様で知恵を出し合う必要があると思います。</p>
委員	<p>親の目線から申し上げますと、アンケートの集計にもあるように、自立後の経済的な問題があります。</p> <p>例えば、収入については、障害年金は1級であっても、月額10万円に満たず、就労継続支援B型では工賃が月に1万円に満たない方が多いのが現状です。一方、支出については、グループホームの家賃等が6万円程度かかるほか、昼食代や消耗品代、散髪代、衣服代、大事にしたい余暇の費用がかかります。</p> <p>今後、成年後見制度を利用するには、今でも経済的に厳しい生活の中、何かを削らなくてはならない場合も考えられますので、最低限の生活ができるよう、経済的な支援も視野に入れていただきたいと思います。</p>

課長	<p>今、お話しいただきました内容が、当事者の方の現実の状況だと思えます。アンケートでも経済的な支援の充実を求める意見が多くなっておりましたので、経済的に自立するために、生活面や就労面の支援なども考慮しながら、多様な視点で考えていくことが必要と思えます。ありがとうございます。</p>
会長	<p>就労継続支援B型を利用できるようになったからといって、就労支援が進んだことにはならないと思えます。</p> <p>企業に就労する一般就労や、障害福祉サービス事業所に通所する福祉的就労もありますが、障害者の方だけではなく、高齢などの事情で就労が難しい方も含まれるソーシャルファームのような活動も必要だと思えますので、この新たな働き方についても次期の計画に盛り込めればよいと思えます。</p> <p>時間の関係もありますので、このほかにご意見、ご質問がある場合には、先程の様式で7月14日までに、事務局へご提出をお願いいたしますがよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
会長	以上で、議事を終了します。委員の皆様ご協力ありがとうございました。
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p>	
<p>平成 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	